**[大学編入・大学院入学のススメ](https://shinronavi.com/newcolumn/daigakuhennyu/)**

[**https://shinronavi.com/newcolumn/daigakuhennyu/strategy01**](https://shinronavi.com/newcolumn/daigakuhennyu/strategy01)

**編入学試験に取り組む学生の受験指導・相談に長きにわたって携わり、数多くの合格者を送り出してきた中央ゼミナールの宍戸ふじ江さんに、編入学試験合格のポイントをお聞きしました。**

大学新聞社 2011年7月20日発行「編入学ガイド」より



[宍戸 ふじ江さん（中央ゼミナール ステップアップサポート部部長）]  
長年にわたり、大学編入・転部試験、社会人編入試験などの受験指導に携わり、親身な面談を重ねる指導スタイルには、全国から集まってくる多くの受験生が信頼を寄せる。『だれも教えてくれなかった大学編入』（東京図書）、『まるわかり！大学 編入』（オクムラ書店）の執筆・編集に携わるほか、 全国で大学編入・転部についての講演を行うなど、啓蒙活動にも意欲的に取り組んでいる。

**編入学試験を受けるのに必要な資格は？**

編入学の対象となるのは、大学卒業（見込）者、短大卒業（見込）者、一定の単位を修得（見込可）した大学在学者、「専門士」の資格がとれる専門学校の修了（見込）者です。10 年前までは8割が短大生でしたが、今は大学生が一番多いですね。

ただし、学校によって、大学卒業（見込）者のみが対象だったり、看護・栄養系の学科などでは、出身学科が限定される場合などもあります。また、編入学試験を行う大学でも、すべての学部・学科で実施しているわけではない上、年度で募集学部・学科が異なることもあります。

**編入学試験の内容は？**

「語学（主に英語）」、「専門科目」または「小論文」、「面接」が主な試験内容です。ただし、学校で傾向が異なるため、過去問題のチェックは欠かせません。また、出願時に提出する「志望理由書」も大切な要素となります。

このうち、「専門科目」は、もともと自分の興味のある分野が対象なので取り組みやすく、さらに受験勉強が大学入学後にも活きるので、その点は編入学試験の大きなメリットといえるでしょう。

**語学（英語）**

英語の出題パターンは大きく3 つのタイプに分かれます。

**①大学院型**

受験する学科に関連する専門的な内容の英文について、その全訳・部分和訳・要約・記述式説明問題などが出題されます。法学部や経済学部など、社会科学系の学部で主流です。

**②長文総合型**

一般入試英語のなかの長文総合問題を中心としたタイプで、英作文などがつくこともあります。下線部訳、内容や意味を問う問題、穴埋め、書き換えなどが出題されます。文学部や私立大学の社会科学・自然科学系で多く見られます。

**③一般入試型**

アクセントや発音、語彙、独立した文法問題から長文まで幅広く出題されます。このタイプは編入学では少数です。内容は基礎的な問題が多いですが、国立大学文学部などの場合は、レベルが高くなることもあります。

「大学院型」「長文総合型」ともに、長文読解が主になります。また「大学院型」では専門単語、例えば法学系なら法学・政治学関連の単語、経済系なら経済関連の単語を知っておくことも必要です。長文読解は、ただ訳すのではなく、日本語としてきちんと意味の通る文章になっているかどうか、またキーワードとなる言葉を正しくとらえているかが大事になります。

また、最近ではTOEIC、TOEFL のスコア提出を必要とする大学も増えていますでので、注意しましょう。

**専門科目／小論文**

専門科目の試験内容は分野によって異なりますが、多くの場合、論述問題が出題されます（理系の学科では計算問題も出題されます）。論述問題では、「理論分野」と「時事分野」があり、両方あるいはどちらか一方が出題されます。例えば、経営学科の場合、理論分野では、「○○の経営理論について述べよ」という問題が、時事分野では、ここ数年話題になっている「企業の社会的責任に関する意見を述べなさい」といった問題が出されたりします。

理論分野は、それぞれの分野における基本書を読んでおくことが大事です。分量のある本が多いですが、300 ページの本でも1 日10 ページずつ読んでいけば1 ヶ月で読むことができます。これを3 回繰り返せばだいぶ内容が理解できるようになります。基本書は2 冊ぐらいは用意しておき、ある程度理解したら、今度はその2 冊を項目ごとにノートにまとめていく練習をしていきましょう。

時事分野については、新聞記事、また「現代用語の基礎知識」、「日本の論点」などの年度発行の時事問題解説書に目を通しておきます。学校によっては、かなり最近のニュースをテーマとして挙げることもあります。

論述は、「序論」「本論」「結論」という3 段で構成していくのが一般的です。

* 「 序論（導入・問題提起）」… 与えられたテーマの定義、問題の所在を明らかにする。
* 「 本論（展開）」… 序論で提起した問題を具体的に分析し、論じて展開する。本論を2 つか3 つに分けて説明する場合もある。
* 「 結論（評価・意義）」… まとめ、将来の見通し　専門科目での論述試験、また小論文方式の試験では、具体的な指定がある場合を除いて、原則、前述の流れを頭に入れながら書いていきましょう。

**志望理由書／面接**

志望理由書を書くにあたっては、下記の4 つを明確にしておきましょう。

1. なぜ、その学科への編入を希望するのか（動機）
2. 学習計画、研究テーマ
3. なぜその大学なのか
4. 卒業後の抱負、将来の展望

これらのことを書く際は、その学校・学科におけるカリキュラム、特にゼミナール・演習などを具体的に把握しておくことが大切です。そのためにも、大学のホームページや大学案内・学部案内にしっかりと目を通しておきましょう。オープンキャンパスに足を運ぶことも大学を知る方法の一つです。①において、異系統学科からの編入の場合は、自分がその学科に関心を持った個人的体験なども動機になります。③では、ブランドや偏差値ではなく、「勉強したいこと」に絡めた内容を書くようにしましょう。また、①から④について、矛盾がない内容にしておくことも大切です。面接では、志望理由書で書いた内容について聞かれますが、その分野の関連書を数冊読んでおいたり、最近関心のあるニュースなども交えて話したりすると、よりよいでしょう。**戦その2**

**試験勉強するうえで大切なことは?**

編入学試験に向けての準備期間は、平均的にみると半年ぐらいの方が多いです。国公立の理系の場合は7 月ぐらいには試験が行われるので、1・2 月には勉強を始める必要があります。なお、英語に全く自信がないとか、文系からの理転で高校数学がわからないといった場合は、やはり1年ぐらいは準備にかけたいところです。

いずれにしても大事なのは、「あきらめてはいけない」ということ。わずか1・2ヶ月でも、勉強するとしないとでは雲泥の差が出ますし、知識が増えたことを実感できれば自分の励みになり、次第に勉強自体が楽しくなっていきます。

また、筆記試験対策ばかりだときつくなることもあります。「志望理由書」の作成、「面接」対策も同時に行うことで、「自分はどうして編入したいのか」という気持ちをより明確にし、試験勉強のモチベーションアップを図っていきましょう。

受験校数については、平均的に2～4 校受験する方が多いですが、編入学の勉強は時間が限られるということもあるので、同系統の学科で、かつ試験の傾向が近い学校を受けた方が勉強も効率的になります。

**受験生へのメッセージ**

見事合格できたとして、大切なのは大学入学後です。その意味でも、「なぜ、その学校・学科で学ぶのか」という部分は、試験勉強だけでなく、大学入学後、意義のある学生生活を送れるかどうかについても大切な鍵になります。

編入試験を受ける理由というのは、人それぞれです。「大学受験に失敗したが、どうしても○○大学に入って△△を勉強したい」「高校生のときは何をやりたいかわからなかったが、そこから数年経って新たに自分のやりたいことが見つかった」。編入学は、そうした自分の将来を真剣に考えたみなさんが、もう一度スタートを切ることができる制度です。受験期間中はつらい時期もあるかもしれませんが、ぜひ自分のために受験勉強をして、合格をつかみ、将来につなげてほしいと思います。

* [大学→大学 鈴木二郎さんの場合](https://shinronavi.com/newcolumn/daigakuhennyu/experience01)
* [短大→大学 宇野紗知子さんの場合](https://shinronavi.com/newcolumn/daigakuhennyu/experience02)
* [専門→大学 壇上拓也さんの場合](https://shinronavi.com/newcolumn/daigakuhennyu/experience03)

**大学→大学  
必死の努力が実り、刺激的で充実した毎日を送っています**

**鈴木二郎さん**

高等学校卒業程度認定試験合格

大学:社会学系学科3年⇒神戸大学:法学部法律学科3年

**編入を志した時期**

大学3年生の6月ごろ

**本格的に受験勉強を始めた時期**

大学3年生の5月頃

**受験科目**

専門科目（法律）、英語（TOEIC)、小論文

**併願校**

北海道大学 法学部、上智大学 法学部

私は、以前の大学では主に社会学について勉強していました。しかし、授業やゼミに参加するにつれて、自分が本当に勉強したいことなのか疑問を持つようになりました。そこで、自分なりにさまざまな本を読むことで法律に興味を持ち、法学部に行きたいと考えるようになりました。

当初、私は編入学制度を知らず、また1年からやり直す覚悟で一般受験用の予備校に説明を聞きに行きました。そんな折、偶然、インターネットで編入学制度を知りました。編入学ならこれまでの単位も認定されるので、1年からやり直さずに済むと思い、すぐに編入学を志すことを決めました。

受験科目の英語については多少勉強していましたが、法律の勉強については全くしておらず、かなり焦りました。編入学をすることに決めたのが5月の末と、他の人よりかなり遅かったのですが、入試直前まで必死で法律の知識を詰め込み、試験までには答案を書けるレベルまでになりました。編入学のための勉強は決して簡単なものではありませんが、必死でやれば努力は必ず報われると思います。編入先の大学では、自分の本当にやりたかった勉強ができ、毎日が刺激的で充実しています。

**合格までのスケジュール**

|  |  |
| --- | --- |
| **1～2年** | 大学の講義を受けつつ、自分のやりたいことを模索していました。この時期はまだ編入学試験の対策は何もしていませんでしたが、英語は就職にも役に立つと思いTOEIC の勉強をしていました。 |
| **3年前期** | 法学部に行きたいと考えるようになりました。編入学制度を知り、編入学試験を実施している大学や試験科目について調べ始めました。本格的に勉強を始めたのは5月末からです。 |
| **夏休み** | 予備校の夏期講習を利用し、ほとんどの時間を自習室で過ごしました。特に、法律の勉強に重点を置き、模範解答を何度も読み、法律独特の言葉づかいにも慣れるようにしました。また、新聞や新書を読み、時事問題の対策も行いました。 |
| **入試直前** | 筆記試験の対策として、これまでに暗記した知識を実際に答案としてまとめる勉強に重点を置きました。暗記しただけでは実際の試験でうまく解答することは難しいので、書き出してみることが重要です。単語の暗記や法律の基礎用語の暗記なども継続して行いました。 |

**受験勉強と授業の両立のコツ**

私の場合3年生だったので、大学の授業はそんなに多くはありませんでした。ただ、専門科目である法律はゼロからのスタートだったので、予備校の先生から紹介してもらった法律の入門書を読むなど、法律の全体像を把握することからはじめました。

**受験勉強乗り切り法**

受験勉強においての最大の問題はモチベーションを維持することでした。受験勉強は長期戦なので、編入学を志した当初の意志を持ち続けることが大切です。集中力が途切れた時は、同じ目標に向かって頑張っている友人と語り合い、モチベーションを維持していました。

**科目別・受験対策を紹介!!**

**専門科目**

主に予備校の参考書を利用して勉強し、授業の復習を中心に行いました。参考書は暗記するまで何度も繰り返し読むことが重要です。また、インプットするだけでなくアウトプットすることも大事です。

**英語**

まず例文を和訳し、分からなかった単語や文法を暗記するという勉強法が一番効率的だと思います。単語集は何度も繰り返しやりました。最低でも5 回はやるべきだと思います。

**小論文**

基礎的な論点を把握するために新書を読んで勉強しました。まずは書いてみることが大切です。そしてそれを先生に添削してもらい、問題点を把握していきました。

**志望理由書**

友達などの第三者に読んでもらい、自分を客観視することが大切です。志望理由書は早くから準備することがかなり重要。志望校から早めに資料を取り寄せることをおすすめします。

**メッセージ**

編入学試験は情報が少ないので、自発的に情報収集することが大切です。過去問を配布している大学もあるので、早めに入手しておくとよいでしょう。編入学は苦労も多いですが、その分だけ合格した後の達成感も大きいので、みなさんもぜひ頑張って合格を手にしてほしいと思います。

* [大学→大学 鈴木二郎さんの場合](https://shinronavi.com/newcolumn/daigakuhennyu/experience01)
* [短大→大学 宇野紗知子さんの場合](https://shinronavi.com/newcolumn/daigakuhennyu/experience02)
* [専門→大学 壇上拓也さんの場合](https://shinronavi.com/newcolumn/daigakuhennyu/experience03)

**短期大学→大学  
諦めずに挑戦したチャレンジ校に合格できたことで自信がつきました**

**宇野紗知子さん**

山口県立山口中央高等学校出身

短期大学:英語科⇒お茶の水女子大学:生活科学部 人間生活学科3年

**編入を志した時期**

短大2年生の8月頃

**本格的に受験勉強を始めた時期**

短大2年生の4月頃

**受験科目**

英語、小論文、面接

**併願校**

立教大学 コミュニティ福祉学部

もともと大学受験に失敗したことで、編入試験を意識し始めました。編入試験に積極的な短大でもあったので、無理なく挑戦できたと思います。推薦制度もありましたが、入学後も勉強するのだから受験勉強を一通りこなすべきだと考えて、一般の編入試験のみ受験しました。

私は子育て支援について興味をもっており、お茶の水女子大学の生活社会科学講座は自分が興味のある分野を高いレベルで学べる場所でした。しかし、私にとって、お茶の水女子大学は本命校というよりチャレンジ校でした。受験に向けて一生懸命勉強しましたし準備もしたのですが、苦手な英語を最後まで克服できず、合格できるレベルに達していないと感じていたからです。

自信のなかった受験でしたが、どうせ無理だろうと諦めずに挑戦して、結果合格できたことは自信に繋がりました。大学生活がいざ始まり、勉強に追われて大変だと思うこともありますが、レベルの高い学びができて毎日がとても充実しています。

**合格までのスケジュール**

|  |  |
| --- | --- |
| **1年前期** | 短大入学前から編入学を意識していたので、学内の編入ガイダンスや編入した先輩方の話を聞く会に参加していました。インターネットで編入の情報を調べたり、短大の編入の資料を読んだりもしていましたが、編入の試験に向けた勉強は特に何もしていませんでした。勉強時間が少なかったので、短大の成績もよくありませんでした。 |
| **1年後期** | 大学受験期に使っていた単語帳を使って英単語中心に勉強をしていました。TOEIC や検定試験にもチャレンジして、勉強しなければならない環境を自ら作るようにしました。興味のある分野の文献や新聞を読み始め、社会学に興味を持ち始めたのもこの頃です。お茶大の文化祭にも遊びに行きました。 |
| **2年前期** | 編入試験にむけて本格的に勉強を始めました。苦手だった英語は文法を基礎からやり直しながら、いろいろな大学の編入試験の過去問を解きました。社会学の入門書を3、4冊読み、興味をもった家族社会学関連の本も読んでいました。小論文対策は、文章を書くことに慣れるように、できるだけ毎日取り組みました。 |
| **入試直前** | 直前期は新しいことに手を出さず、見直しに徹していました。志望理由書は時間をかけて何回も書き直しながら作りました。私は志望動機や理由は明確だったので、言い回しなどに気をつけました。1 次試験の合格発表後に本格的に面接対策を始めましたが、どのような質問にも答えられるように、できるだけ多くの方に見ていただきました。 |

**受験勉強と授業の両立のコツ**

短大1年生のときは勉強する習慣がなかったので成績は悪かったです。2年生になって勉強する習慣がつくようになって成績はあがりました。学校の授業で学んだ知識が編入試験にいかせることもあると思うので、あまり気負いすぎないほうがいいと思います。

**受験勉強乗り切り法**

私は集中力が長く続かず悩むこともあったのですが、英語や小論文を解いて疲れたら英単語をやってみたり新聞を読んだりニュースを見たりと、勉強方法を変えて息抜きをしていました。興味をもって選んだ分野ではあったので、勉強も息抜きの一つでした。

**科目別・受験対策を紹介!!**

**英語**

単語はちょっとした空き時間にやるようにしていました。また、英語は基礎がしっかりしていないと訳せないので、英文法には時間をかけました。さらにいろんな大学の過去問も解きました。

**小論文**

社会学の場合は、入門書や専門書を読むだけでなく、新聞やニュースも日頃から見ておくべきです。文章を書くことに慣れるために、できるだけ1日1題解くように心がけていました。

**面接：**

お茶大は1次試験の筆記に合格したら2次試験で面接をおこないます。準備期間は短かったのですが、できるだけ多くの方に練習を見ていただきました。

**志望理由書**

志望大学のカリキュラムと志望理由の一貫性が重要だと思います。私は、志望する講座のカリキュラムと自分の学びたい分野が合致していたので、志望理由書も書きやすかったです。

**メッセージ**

私の場合、大学受験がうまくいかずに短大に進学したので、ずっとコンプレックスがありました。また、周りの友人が大学生活を満喫している2年生のときに、受験勉強をするのはやはり辛かったですし、どこにも受からなかったら…と考えると毎日、不安でいっぱいでした。でも、結果的に、編入試験に向けて頑張ったこと、合格できたことで自信がついたので、チャレンジしてよかったと思っています。もし挑戦するかどうか迷っている方がいれば、ぜひ頑張ってみてほしいです。

* [大学→大学 鈴木二郎さんの場合](https://shinronavi.com/newcolumn/daigakuhennyu/experience01)
* [短大→大学 宇野紗知子さんの場合](https://shinronavi.com/newcolumn/daigakuhennyu/experience02)
* [専門→大学 壇上拓也さんの場合](https://shinronavi.com/newcolumn/daigakuhennyu/experience03)

**専門学校→大学  
友人と励まし合いながら受験を乗り切りました**

**檀上 拓也さん**

広島県立福山誠之館高等学校出身

専門学校:スポーツ系学科⇒法政大学:経営学部 経営戦略学科 4年

**編入を志した時期**

2年生の8月頃

**本格的に受験勉強を始めた時期**

2年生の8月頃

**併願校**

小樽商科大学 商学部 商学科

私の場合、もともとは専門学校を卒業して働こうか迷っていました。しかし、専門卒だと就職先が限定され、一生をかける仕事を見つけるには大学に入らなければならないと感じ編入を決意しました。それから、専門士で受験可能な大学をリストアップし、受験に備え勉強しました。

はじめは、1カ月にこれぐらいすれば編入できるだろうという基準として1日8時間勉強をしていました。しかし、友達が12時間勉強していると聞いて、正直焦りました。また、予備校の先生の授業中におっしゃる熱い言葉が私を奮い立たせ、1 日16時間勉強するようにしました。朝はカフェで、予備校が開けば自習室で仲間を意識しながら、夜帰る時は電車の中で勉強しました。すると、勉強が習慣化されました。それでも、編入合格者が段々と現れ、私は編入できるのか焦りました。

その時、助けになってくれたのは友人でした。お互い編入が決まっておらず、会うたびに励まし合うことで、結果、編入試験に合格することができました。編入を通して、友達の大切さを再確認することができ、そのときの友達とは今でも連絡をとっています。

**合格までのスケジュール**

|  |  |
| --- | --- |
| **夏休み** | 英語は、まず中学英語から学び始め、できたところにチェックを入れていき、全部をチェックしました。経済、経営は、学んだことがなかったので、まずはテキストをすべて理解するようにしました。 |
| **9月** | 英語は、5文型の構造が段々と見えてきたので、簡単な長文読解を始めていきました。経済、経営は、単語の意味を説明できるようにしました。 |
| **10月** | はじめての編入試験を受けたところ、自分自身のあまりの出来の悪さに驚き、再度身を引き締めて勉強することを決意しました。また、面接練習も2、3 回行いました。 |
| **入試直前** | 新しいことには手を付けずに、今までやってきたものを総復習していました。特に、英単語などの暗記モノは忘れやすいので繰り返し確認しました。 |

**受験勉強と授業の両立のコツ**

タイムマネジメントをすることです。私はまず、手帳に時間が決まっている授業などを書き込みました。次に今日やるべきことを書き、できたらチェックしていました。そうすることで、空き時間が視覚でわかりスッキリします。また、チェックするとやる気もでます。

**受験勉強乗り切り法**

家ではテレビを見てしまうので、モチベーションが上がらないときは、予備校に行って勉強をしていました。その中で一番重要なことは、勉強の休憩時間に友達と話すことでした。仲間の話を聞くとリラックスでき、また、向上心が生まれます。

**科目別・受験対策を紹介!!**

**経済**

予備校の授業でわからないところは、授業後に先生に聞きにいき、問題をその日に解決していました。論文問題は、模範解答を暗記するのではなく、図を描き、その図をどのように説明すればわかりやすいかを心がけ、自分自身で説明できるようにしました。

**経営**

市販のものでオススメされたテキストがあったので、その中で重要なものを理解し、説明できるようにしました。また、過去問の出題傾向から要点をしぼりました。

**英語**

基礎が全然できていなかったので、5文型から入り、2週間は中学校の総復習をしました。語彙力もなかったので、電車の中で単語帳をひたすらめくっていました。

**メッセージ**

編入するには、みなさんさまざまな理由があると思います。今いる大学よりレベルが高いところに行きたい、新しい分野を勉強したいなど。大切なことは、その思いを行動に移し、継続することだと思います。単純なことだけど、意外と難しいです。最後に、これを読んでくれているみなさん、編入学を決めたその日から戦いは始まっています。頑張っていきましょう。

# 社会人の大学院入試について

「あの頃もっと勉強していたら」と誰もが一度は考えるのではないでしょうか？ 近年、学ぶことに対する向上心の高まり、女性の多様な職種に対する進出、生涯学習の普及に伴い、大学や大学院に進学する人が増えてきました。 「学び」なおしや「大学での資格を取得したい」「今までのキャリアから別の分野に進みたい」などのキャリアアップも含めた進路を選ぶ人のために社会人入学を設けている学校が増えています。そこで、社会人入学のためにはどのようなことが必要なのか、ご紹介します。

## 社会人入学とは

一般学生との一番の違いはやはり働きながら大学・大学院へ通っているということです。また、自ら「学ぼう！」という強い意志を持っていますので、勉強に対する意欲が強いのも特徴です。 社会人学生の年齢と性別については、性別は、、一般の学生と大差ないようですが、年齢差が大きく、20代前半から60代まで様々な年齢の人が学んでいます。一番多いのは30歳前後のようです。

## 社会人入試とは

試験科目が少ない分、面接と書類審査が重要視されます。つまり、意欲や志望動機、社会経験などが問われます。一般入試と比較すると、難易度は低めですが、人気が高い分野になると志願者が多く倍率も高めになります。特に最近では心理学系が人気となっているようです。また、医学部、歯学部などでは専攻科目が1～2科目課せられることが多いようです。

### 家族の理解

独身の方は心配がないかもしれませんが、既婚者の場合、家族の理解が必要になってきます。サラリーマンをしている方、主婦の方、など様々ですが、心配なのは学費の面ではないでしょうか。学費がいくらかかるかを具体的に説明すると良いかもしれません。場合によっては、車を売ったり、お小遣いを減らされるということも考えられます。

### 学科・学部を選ぶ動機

学びたい学科がある、資格や免許を取得したい、学びたい教授がいる、学歴が欲しいなどが挙げられます。自分の目的にあった学科選びを行いましょう。

### 履修方法

**昼間開講の大学・院に進学**

今までの生活をリセットして進学を希望した学生スキルアップのため教育休業制度を利用して進学

**夜間開講の大学・院に進学**

残業などが少なく、仕事と両立できる場合、上司・同僚・家族などの理解を得られる場合

**昼夜開講の大学・院に進学**

昼夜の受講にあわせることができたり、仕事のシフトが組める場合など

**通信制の大学・院に進学**

仕事が多忙で通学が難しい場合、自分のペースで学習に取り組める場合

どの選択をするにしても、社会人進学となると経済力・継続力が必要となります。 進学する目的を明確に持ち、慎重に選択する必要があります。現在のライフスタイルに支障がないよう無理のない選択をしましょう。